

月例報告（2022年11月提出）

2021-22 年度 地区補助金奨学生

スウェーデン・ヨーテボリ大学

和田 哉恵

11月の中頃から一段と日が暮れるのが早くなりました。相変わらず朝はなかなか起きるのが大変ですが、昨年よりも暗い秋冬を上手に過ごせているように感じます。先週末は最初のアドベントだったので、スウェーデンのクリスマス定番のサフランを使った菓子パン『ルッセカット』を手作りしました。想像以上にイーストが膨らんだので、やや太っちょな見た目になりましたが、美味しく出来たのでとても満足しています。



さて、最近は大学院とスウェーデン語の勉強、来年の卒業後に向けた就職に関する情報収集などで少し慌ただしい日々を過ごしていました。今学期の授業[Interdisciplinary

Challenge in Gender Studies (ジェンダー学における多分野横断の課題)]では、新たな理論・分野について学ぶというよりも、研究倫理や理論を応用する際の注意点など、修士論文執筆に向けた心得を学んでいるように感じます。また修士論文では、先日応募した修士論文のプロジェクトの一次選考に通り、来月半ばに面接・研究プロポーザルの発表を行うことになりました。まだ採用が決まったわけではないので、研究プロジェクトに関する詳細は伏せさせていただきますが、組織の慣習を見直す挑戦的なプロジェクトで、今回の修士課程での学びを活かせる内容なので、この機会を勝ち取ることが出来るよう精一杯頑張りたいと思います。

写真1：手作りしたルッセカット。

また、スウェーデン語は先月行われた進級試験に合格した、一つレベルの上のクラスを先月末から受講しています。今週は市の図書館の司書の方が来て、図書館でのスウェーデン語を現在学んでいる成人を対象とした活動（言語カフェ・読書会）や、スウェーデン語学習者向けの本に関する説明などをしてくださいました。近所に図書館があることが分かったので、早速その翌日に図書館カードを作り、私でも理解できそうな語学レベルの本を2冊借りてみました。去年の今頃は学業に手一杯かつスウェーデン語もほぼ全くわからなかったもので、あまり学外の活動に参加出来ていませんでしたが、今は生活や勉強にも慣れて来たので、もちろん修士課程を無事に終えることが最優先ではありますが、他の活動も興味があるものは積極的に参加しようと思います。